

KAGAWA アンバサダーからのお便り～石見康雄さん～

1996年に香港に赴任した当時は、日本製電気製品が多く出回り、テレビでは日本のアニメを盛んに放映していましたが、地元スーパーマーケットには日本の食材はほとんどありませんでした。20年余り経過した現在、日本食品や日用品などさまざまあり、日本レストランも多いです。2017年には、来日者数は香港人の3.3人に1人(人口比率)で世界1位でした。また、日本語能力受験者数(人口比率)は台湾に続き世界第2位でした。

2003年の新型肺炎(SARS)問題の発生時、電車内ではマスクをして息をも殺したのですが、日本人感染者が出なかったこともあり、日本人の衛生意識が評価されました。

その後香港政庁衛生署の推進で飲茶時の取り箸の使用が一般的になりました。また、香港の家庭内は欧米式で基本は外履きですが、日本式に倣いスリッパ使用が増えています。

さらに、交通機関の料金決済ICカードの技術開発したのは日本ですが、1997年に、いち早くOCTOPASとして採用したのは香港でした。重い小銭入れが不要となり便利になりました。香港での成功に倣い、日本で2001年にSuicaを導入。琴電も地方交通で初めての2005年にIruCaを導入しましたが、この普及には香港も関わっていたのです。

香港社会は、以上の様に良いことはすぐに取り入れる柔軟さと先進性、それに合理的な国際都市であり、我々の学ぶべきところも多いと感じています。

香港の電車やバスの車内では、優先座席の有無にかかわらず高齢者、身障者、妊婦、赤ちゃん連れなど弱者には、ごく当り前に座席を譲ることに出くわします。私も娘が幼い頃に座席を譲って貰い助かりました。しかし、日本では「席を譲らない」情景をよく見かけることがあり、気になっています。



筆者の住む香港の風景。
ビクトリア湾を挟んで香港島の金融都市街・中環地区を望む



石見康雄（いしみやすお）さん

香港在住 23 年、国際親善・環境保護活動を推進する傍ら、香港の青少年を日本のサマースクール派遣、日本の高校・大学留学促進にも力を入れている。また、香港人グループを香川県に引率して讃岐文化紹介や産業視察なども行う。

◇ **KAGAWA アンバサダーについて**

香川の魅力を世界へ発信するとともに、本県の諸課題に対する情報提供、活動、提言等を行っていただく大使です。主に世界を舞台に活躍している香川県出身者や県にゆかりのある方で、各界から候補者の推薦を受け、識者による選考後、知事が委嘱しています。

◇ **KAGAWA アンバサダーからのお便りについて**

県民の方々にKAGAWAアンバサダー事業及び県の国際化の推進について、より理解を深めていただくことを目的に、世界を舞台に活躍されているKAGAWAアンバサダーの方々から在住国や御自身の活動等について御紹介いただくものです。